

きょうと福祉倶楽部だより

2月号

心に残ったひとたちー⑥山谷で倒れた A さん

皆さんは東京の下町に山谷（さんや）という地域があるのをご存じでしょうか？

かつて流行した漫画「あしたのジョー」の舞台にもなった街です。上野駅から常磐線の南千住駅が最寄り駅です。

山谷は大阪のあいりん地区、横浜の寿町にならぶ日雇い労働者の街です。

これらの地域は日本の高度成長期に多くの労働者が集まりました。

山谷の労働力が 1964 年の東京オリンピックの時期活用されたのです。わたしが勤務していた病院はここから電車で数駅の北千住ですので、時々この地域の患者さんが来られることもありました。

A さんは長崎の出身。造船労働者でした。折からの造船不況に「東京に出れば仕事がある」と故郷をでて来られたとのことでした。彼が身を寄せた山谷での生活は過酷なものでした。飯場生活では日当から飯場の利用料など様々な名目で差し引かれ、手元にはお金が残らない仕組みができあがっていたといいます。そんな環境での暮らしは人の心も荒れてしまいます。A さん曰く、入浴も貴重品は湯船まで持って行って頭にのせておかないと盗まれる世界だそうです。

A さんの病名は大腸癌。人工肛門の造設が必要でした。そのためにその造設手術のために来られたのです。

手術を終え、退院ができるまでの体調は回復しました。だけど彼が再び過酷な肉体労働につくことはできません。それでも帰る場所が無いのです。

福祉事務所は彼を一時保護所に送ろうとします。

でも、人工肛門をつけての集団生活は難しい。そこでアパートを探してそこで暮らしてもらうことに。ようやく自分の暮らしを手に入れた A さん。

もしも造船不況が無ければ、彼は東京での過酷な生活を選ばなかったのではないのでしょうか？

社会に翻弄された A さん。結局癌の再発で在宅での生活は短期間で終わってしまいました。

その最後の時、短期間でも安心できる生活の場を提供できたことはソーシャルワーカーとしての喜びになりました。



有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神 4 丁目 7-12 ハイッ東台 101 号

TEL 075-958-2560

FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com

きょうと福祉倶楽部ホームページ

